

## 平成 21 年度 幸区区民会議 第 4 回 安全・安心・生きがい部会摘録

開催日時 平成 21 年 7 月 24 日 (金) 午後 6 時 30 分 ~ 8 時 30 分

会 場 幸区役所プレハブ会議室

参加委員

専門部会 A 委員：松世部会長、三浦副部会長、荒井委員、猪股委員、菅野委員、高瀬委員、  
綱川委員、萩原委員

事務局 (企画課)：渡邊課長、高相課長補佐、蓬田課長補佐、小出主査、齊藤職員、小俣職員

- 議 題
- 1 地域の防犯力向上策 (あいさつ・声かけ運動、万引き防止策) について
  - 2 今後の検討内容について
  - 3 区民会議 (8/31) での部会の検討状況の報告について
  - 4 その他

開会

司会：渡邊課長

配布資料の確認を行いました。

会議公開について説明し、了解を得ました。

議事

進行：松世部会長

開会あいさつ・これまでの経過の振り返り

松世部会長がこれまでの経過を振り返りました。主な内容は以下のとおり

- ・ 具体的なコンセプト案まで検討してきた「わんわんパトロール」については、事務局で一旦預かり、モデル実施に向けての呼びかけ調整を行うこととした。後ほど事務局から報告がある。
- ・ 「あいさつ・声かけ」運動については、他自治体の事例などを事務局が調査した結果をもとに今回検討を進める。
- ・ 「万引き防止」活動については、保護司会が中心となっている「社会を明るくする運動」と組んで、また警察と併せて区から、大型店舗に対し青少年への声かけや制服警備員の配置などについて話にいつてはどうかという意見が出た。
- ・ 「今後の検討内容について」これまでの検討課題である地域防犯活動の推進について引き続き検討していくのか、または新たなテーマを設定するのか、前回から今回にかけてお願いしたアンケート調査の結果を元に検討を進める。

### 1 地域の防犯力向上策 (あいさつ・声かけ運動、万引き防止策) について

事務局が資料に基づき、各地で取り組まれているあいさつ・声かけ運動の実施例について、事例集の作成、活動の広げ方、の内容別に紹介、合わせて幸区で取組を実施する場合の課題・要検討事項を報告しました。

事務局が資料に基づき、幸区内の小中学校でのあいさつ運動と登下校時の見守り活動の取り組み状況の報告し、全小学校においてどちらかの運動が行われている状況とその内容が確認されました。また、菅野委員から追加配布資料に基づき、PTAの運営委員会で聞き取りした各学校の取組状況について報

告がありました。

事務局が資料に基づき、これまでの議論を5W1Hに整理した内容を確認しました。

松世委員が、7月3日に保護司として出席した平間中学校区地域教育会議の地区懇談会、および7月7日に開催された区内小中高の校長と生活担当教諭、PTA会長、保護司会の連絡会で、あいさつ・声かけ運動等について学校関係者に聞いた話の報告をしました。主な内容は以下のとおり。

- ・ 平間中学校...季節に応じて教職員とPTA、生徒が校門に立って挨拶をしている。
- ・ 下河原小学校...生徒数も少なく地域密着型の小さな学校で地域との活動も盛んであるが、児童の自主性を重視し、児童たちから出てこない限り、あいさつ・声かけの運動は特に行っていない。
- ・ 元県警の青少年相談員の講演(7日の連絡会)...「地域の教育力が欠けている」「こどもとのコミュニケーションが薄くなってきている」という指摘があった。
- ・ 塚越中...「おはようございます運動」を毎日行っている。また地区懇談会で保護者側から「今の時代、親の教育指導が必要だ」という意見が出た。
- ・ 商業高校(PTA会長)...あいさつができていない子、できていない子がいる。小さい頃からの各家庭でのしつけが重要ではないか。
- ・ 日吉小学校(教頭)...地域との関係が重要であり、児童、教員、地域の関係に気を配るようにしている。あいさつ運動を奨励している。
- ・ 総合科学高校(校長)...学校全体であいさつ運動をしている。生徒に夢を求めよとメッセージをいつも伝えており、後押しをしている。地元で信頼厚い学校を目指している。
- ・ 西御幸小学校(校長)...生徒が273人と小さな学校であり、全教員、校長も一緒になって動いている。校長室に全生徒の顔写真を貼っており、生徒全員の名前を覚えようとしている。互いに名前を覚えることが信頼関係につながる。
- ・ 南河原中学校(生活指導担当)...毎朝生徒・先生・PTAが校門に立ち、あいさつ運動をしている。年1回のバザーを地域と一緒に開催するなど、学校・家庭・地域の一体化を図っている。

#### 意見交換

(網川委員) 各学校で行われている活動をどのようにつなげていけるでしょうか。

(三浦副副会長) 各学校で様々な活動が行われていることはわかったのですが、例えばそれを毎月同じ日に一斉に行うなど、より効果をあげるための意見交換はなかったのでしょうか。

(菅野委員) 時間もあまりなく、まず状況をお聞きしただけでした。運動を今後どうするかというよう意見交換はしていません。

(三浦副副会長) つながり重視していくのであれば、やはり決まった日に一斉に運動を展開するのが良いと思います。毎月運動を実施する日を決めている学校も何校かあるようです。調整は必要ですが、それができるとつながりが増えてくると思います。

(松世部会長) 学校だけでなく、幸区全体で展開できると良いですね。交通安全週間のような形でできないでしょうか。

(高瀬委員) 一斉にやるほうがやりやすいのでしょうか。押し付けにならないかとも思います。こんなにたくさんの学校が活動をされているのは知りませんでした。

(松世部会長) 子どもさんが大きくなったり、いなくなったりで、学校から遠ざかっていると、学校で行われている活動を知る機会がありません。地域の方が学校でやっていることを知ることができるようになれば少し状況が変わるかもしれません。こどもたちが学校での運動を通して、あいさつが

習慣になり、地域の方にもあいさつできるようになると良いです。

(網川委員) 塚越中学校が近くなのですが、実際にあいさつ運動をしているのを見かけます。

(高瀬委員) 自分の子どもが通学していたころは、町会や子ども会にも関わっており、私も運動に参加していました。子どもが大きくなってからは、情報も入ってこなくなりました。

(猪股委員) 私が子どものころは、自分の家から半径 100m くらいの範囲では、どちらからともなく必ずあいさつしていましたし、悪いことをしたりすれば、周りの大人に注意されました。あいさつ運動も本来は近所の人との関係づくりが理想です。

(松世部会長) 昔は地域の子どものには、地域みんなで目を配っていました。今はそれが無くなってしまった。近所に住んでいても、互いに知らないことも多いと思います。

(網川委員) 交通安全週間になると、道端に立ってあいさつなどの活動もしています。やはり自分の家の近くで運動を展開したいです。老人クラブの多くは年末や春、秋など季節に応じて展開されている地域の交通安全週間の運動に参加していますので、それ以外のときにも、地域に出られるような形ができると良いです。

(松世部会長) 交通安全とあいさつ運動を兼ねて展開するということですね。

(高瀬委員) こちらから「おはようございます」とあいさつをすると、こどもたちも返してくれます。

(網川委員) 老人クラブはすごく行事が多い現状もあります。昔の遊びをこどもたちに教えたりするなどの活動をしているクラブも多いようです。

(松世部会長) 保護司会でも様々な青少年に関わる活動に参加しています。各委員が所属している団体があいさつ運動に学校と一緒にやって取り組めないでしょうか。

(網川委員) 学校まで行かなくても、家の前に出てあいさつをするのも一つの方法かなと思いました。

(松世部会長) 児童と高齢者の関係は見えて微笑ましいものがあります。親が言うよりかえって良いこともあるように思います。

(猪股委員) 私の家は南河原中学校に近いのですが、登下校の時は「この子は南河原中の子ども」だとわかるので、声もかけたり、何かあれば注意することもできますが、それ以外の時はどこの学校の子どものかわからず、ちょっと声をかけるのがこわいという気持ちがあります。

(松世部会長) 区 P 協や老人会、町内会などの所属団体があいさつ運動に参加できるかどうか、持ち帰って検討していただくとありがたいと思います。

(萩原委員) 御幸小学校が校舎を改築する時に、児童たちが一時的に河原町小学校に通っていました。小向など少し遠い所からバスを使って通う児童もいるということで、かなりの数の人がまちかどに立って、スクールガードとして活動しました。私も参加しました。顔見知りになるまでは、声をかけてもあいさつが返ってこないことがあったのですが、日が経って、顔見知りになってくると、あいさつが返ってくるようになりました。そうしますと、我々の方も活動に張り合いが出て、より積極的になりました。校舎の改築が終わり、通学路が変わっても、地域の老人会などにも声をかけて活動が続いています。住んでいる地域で顔なじみになるということが大事だと感じました。

(松世部会長) 家に引きこもるのではなく、皆が外に出て行き、「こういう人たちが地域に住んでいたんだ」とわかると、小さいまちでもにぎやかになると思います。

(網川委員) 地域の子どものもどこのお子さんがわからない子が結構います。

(松世部会長) 私もいつも通ってる道沿いの方々はある程度わかるのですが、一本道を入ると、どんな方が住んでいらっしゃるのか全く知りません。

(網川委員) 最初はこちらからあいさつしても、親から「知らない人から声をかけられても、注意し

なさい」と言われているのか、すごく固くなって、黙って通り過ぎていくお子さんが多かったのですが、活動を続けて顔見知りになるうちに、子ども達の態度もだんだんやわらかくなってきます。

(松世部会長) 先ほどのスクールガードは決められた人が出ているのでしょうか。それともある程度自由に参加できるような形になっているのでしょうか。

(萩原委員) 自由参加なのですが、ある程度グループをつくり、いつ・どこで・誰が出るのか、決めないと活動が安定しない面があり、グループづくりを進めています。地域にボランティアグループ「たんぼぼ」という団体ができたのですが、その人たちはスクールガードから活動を始めた方々でした。今は学校の方から夏休みや登校日、下校時間などの情報がくるようになり、それに合わせて活動を展開しています。見守りと合わせて、声かけを必ず行うようにしています。

(荒井委員) 学校の登下校における見守りやあいさつ運動は子どもたちを守ることが主眼であり、とても良い運動だと思います。いろいろな団体をお願いして進めていけると良いと思います。

わたしの住んでいるところは、川崎ではないのですが、分譲地でメインの道路に出るための出口が限られています。その中に住んでいる130所帯ほどの人たちは、子どもも顔を見ればどこの誰だか大体わかる。そういう子どもたちを道で見かけた時にあいさつをする。小さい頃から知っている子が中学生くらいになると、「あの子変わったね」といったことがあるのですが、あいさつをするとちゃんと返してくれる。ちょっと横道にそれているような子でも自分が見られているんだと思うと非行に走るのを少し防げるのではないかと。非行防止の一助になるのではないかとというのが私の元々のイメージです。資料でご紹介いただいたような各学校の活動はぜひ続けていただきたいのですが、むしろ学校というよりは、地域で何かできないかというイメージです。「幸区は地域の子どもに声をかける区である」というようなキャンペーンを何かできないでしょうか。習慣づける意味ではできるだけ小さい世代から行うことも大事ですが、非行防止という意味では中学校がより大事だと思います。集団になると悪さをするということもあるので、集団になっているような子たちに声をかけるのではなく、ふだんから声をかけるということをやりたいです。

(高瀬委員) 声かけ運動はやはり地域でできるのが理想ですね。

(綱川委員) 地域の間関係が希薄になっている中、やはり地域ですね。

(高瀬委員) どうやって地域の方々の関心を高めるかが重要です。働き盛りの世代がいちばん大事で、その世代が多く住んでいる地域のマンションを見上げていつも考えています。

(三浦副部会長) やはりキャンペーンが有効なのではないでしょうか。例えば「幸区では毎月何日があいさつの日」と定めて、学校、町内会や老人会などの地域の諸団体、地域の新しいマンションなどに声をかけ、区全体で運動できるような形にできると思います。

(荒井委員) マンションや集合住宅こそやっていただきたいですね。大人同士も道で会ってもあいさつしていない現状があります。

(高瀬委員) 私は子育てのボランティア活動もしているのですが、活動を通して知り合ったお母さんの中には、道端で会うとあいさつしてくださる方がいらっしゃいます。子どもとはすぐ仲良くなれるのですが、親とは何回か会わないとなかなかそうはなれません。お子さんは私が忘れていても覚えていてくれます。難しくなってくるのは小学校高学年以降です。新しいマンションの住民の問題ですが、町会でもお願いしてもなかなか入ってもらえず、苦労しているようです。

(コンサルタント) 運動の実施を通じて目指す地域像については、ある程度共有されていると思います。また学校では、かなりの運動が既に行われていることがわかりました。

区民会議の提案として、今後検討が必要なのは、どうやって新しい人に運動に参加してもらうか、

またはどうやって新しい人、より多くの一般市民に運動を知ってもらおうかという点だと思います。キャンペーンや標語募集は新しい人に知ってもらうための手段の一つです。しかし、例えば既存の各学校でやっている運動を同じ日にやったとしても、ただそれだけではつながらず、広まらないと思います。学校関係者以外の方にどうやって関わっていただくか。例えば近所の人、学校と接点の少ない方、新しくマンションに越してきた地域とのつながりのない方々などです。各学校の運動の実施状況の資料を見ますと、自治会や老人会が関わっている例もいくつか見られます。萩原委員からご紹介のあった地元のボランティア団体による活動もあります。学校側との信頼関係もでき、下校時間などの情報も共有されているということでした。こうした事例をどうやって増やしていったらいいか、知ってもらったらよいかということになるかもしれません。何か新しい参加主体や手法のアイデアが欲しいところです。

(荒井委員) 行事として行われてしまっただけでは意味が薄れてしまうと思います。子どもたちの心や普段の生活の中に取り込んでいきたい。まずキャンペーンをやってみようということを提案してみたいと思います。以前NHKのTV番組「ご近所の底力」で見たのですが、空き巣で悩んでいた地域があいさつ運動をしたら、被害が激減したそうです。あいさつ運動にはそういう効力もあると思います。

(高瀬委員) 地域から広がっていくのが理想ですが、まず何かとっかかりをつくらなくてはなりません。

(荒井委員) やはりまずキャンペーンになるのでしょうか。もちろん町会や老人会などにもどんどんPRしていきたいです。

(猪股委員) 宣伝していくには自治会や町内会で広報する方法があると思います。各地域で声をかけようということです。

(コンサルタント) キャンペーンとは具体的にはどのようなものでしょうか？

(三浦副部長) バスに乗った時に、「毎月一日は防災安全の日、ご家庭で何々をしましょう。」というアナウンスが流れることがあります。例えばそのようなアナウンスなど、区民会議ではこういうことを進めているということを区民に示せばよいと思います。「ああ、あいさつ運動があるんだな」と思ってもらおうことです。区民会議から校長会などに提案する方法もあると思います。

(荒井委員) ポスターやホームページなどあらゆる手段を使って、PRしてはどうでしょうか。

(三浦副部長) 幸区全体がコミュニケーションの手段としてあいさつを大事にしていますよというメッセージを発信したいです。

(松世部会長) 具体的に日程などを決めて行うイメージでしょうか。何か語呂などで覚えやすい日とか。

(荒井委員) 既存の活動と重ならないような配慮も必要だと思います。

(高瀬委員) あいさつ運動を一斉に行うというのは、簡単なようで難しいと思います。ただ単にお知らせしても、「何だこれは」となりますし、見過ごされてしまうこともあります。

(荒井委員) いきなり100%を求めたり、短期間で効果を求めることは無理だと思います。

(三浦副部長) 種をまくことが重要です。

(コンサルタント) 例えば、県のあいさつ運動は毎月1日と決められていて、県庁ではそれなりのキャンペーンも行っていますが、それが未だに根付いていない、知られていない面があります。なぜそうなのか、幸区でキャンペーンを行う際にこの運動を根付かせ、広げるための何かアイデアはないでしょうか。

- (萩原委員) 例えば長年取り組まれている社会を明るくする運動(社明運動)がありますが、その中にもあいさつや声かけに関するものがあつたと思うのですが、、
- (松世部会長) あります。全国的に7月が強化月間に定めされていますが、あまりうまく機能していない面があると思います。
- (萩原委員) 青少年指導委員の方でも、毎月あいさつの日を定めるといふような活動をやっていたよふな気がいたします。そうした組織や運動をもつと上手に活用しながら、一緒にやっていると良いと思います。民生委員を含め、いろいろな団体を巻き込むことで、キャンペーンをよりしっかりしたものにすると思ふます。ただあいさつをしようとして広報やポスターを出すだけではこれまでの運動と同じになつてしまふます。
- (松世部会長) インパクトが何かほしいですね。
- (荒井委員) そこまでこの部会で決めるのでしょうか。作業部会を設置して検討を進めるなどのやり方もありそうです。
- (松世部会長) 8月の全体会で検討経過を報告しなくてはならないのですが、どのような内容で報告しまふしょうか。
- (綱川委員) まずやってみて、ということではどうでしょうか。

## 2 今後の検討内容について

事務局が資料の説明を行い、今後の部会の検討テーマについて、部会委員から提出のあつた内容と、それに対応する現状(第1期提言内容や、区役所・市役所、地域で行われている取り組み)について報告がありました。

### 意見交換

- (萩原委員) 第1期区民会議の提言で、高齢者の生きがいと健康づくりということで「健康づくり応援団構想」というのがありましたが、あれはどうなつたのでしょうか。ふと思ひ出しまして。
- (事務局) 提言を受け、検討を進めているところなのですが、応援団をどういふ形にして進めていくのか、まだまとまりきれていない状況です。既存の様々な個々の活動、介護予防や健康づくりの活動が行われていて、それらをどのようにまとめ、応援団としていくのか、まだお見せできるような形にはなつていません。
- (萩原委員) これまでの区民会議の提言を経て、成果として根付いたものもあると思ふます。あいさつ・声かけ運動を中途半端にせず、これをどう提言していくのか、もつと時間をかけたほうがよいと思ふます。
- (荒井委員) 今期はあと何回くらい検討する機会があるのでしょうか。
- (事務局) 第2期区民会議委員であるみなさんの任期が来年の6月までです。これは、これからの企画運営部会の検討事項になりますが、最終的な提言のまとめを、第1期と同じように年度内の2月~3月に行ふのか、それとも任期いっぱい5~6月ころに行ふのかによつて、今後の部会の開催回数が変わつてきます。2~3月の場合はあと4回ほど、5~6月の場合はあと6回ほどの部会開催ということになると思ふます。新しいテーマを設定する場合、現状の調査や勉強、現地調査などを行うことも考えると、今手をつけないとスケジュール的に厳しいということがあります。
- (荒井委員) 萩原委員のご意見のとおり、今回の提案をもう少し深めたい、何となくで終わらせてはいけないと思ふます。新たなテーマをとりあげるかどうかですが、今からあまり大きなテーマはで

きないと思います。勉強が必要なものについてはちょっと時間が足りないのではないのでしょうか。

(事務局) 萩原委員のご意見の様に、あいさつ運動等に関する提案を深めながら、それと並行して何か新しいテーマに取り組む方法もあります。毎回の部会で例えば前半をこれまでの議論、後半を新たなテーマの勉強や検討時間に当てる進め方も考えられます。

(荒井委員) 一つはやりかけた以上今のテーマをきちんとやりたい。新たなテーマですが、どれも捨てがたいです。どちらかという、あいさつ・声かけ運動について具体案を深めることを優先したいです。

(菅野委員) どちらが良いのか、まだ迷っています。

(三浦副部長) 自転車対策の中のマナーアップについて、検討してみたいです。7月1日に改正道路交通法が施行されたこともあり、タイムリーで取り組みやすいテーマだと思います。自転車が歩行者に近いものなのか、軽車両に近いものなのか、一般の方はまだまだ把握されていない。その周知を徹底させたい。自転車の事故は多発傾向にありますし、深刻な傷害事件も多く起こってきています。放置自転車対策問題も重要なのですが、駐輪場整備などは土地利用の問題があり、私たちが取り組むには限界がありそうです。現状のルール、自転車の危険性を皆さんに知ってもらいたいです。自動車免許を持っている方でも、意外に自転車に関する法規は知らないことが多いと思います。

(高瀬委員) 歩道を歩いていて怖い思いをする経験が時々あります。

(三浦副部長) 自動車を運転しながらの携帯電話は厳しく取り締まられていますが、自転車は携帯をしながら、傘を差しながらなど、平気でやっていけないことが横行しています。障害事故になった場合、大変なんだということを知らせていきたいです。

(荒井委員) 事故の相手がきちんとわかっていればまだ良いのですが、高齢者などは、相手に逃げられてしまうことも多いようです。私の患者さんにもそういう方がいらっしゃいました。しばらく寝たきりになるなど、かなり重い怪我をされているケースもあります。

注意をすると、道路状況が悪いからできないと反論されてしまいます。ある通りは、歩道幅が非常に狭く、高く、時には車が停まっていることがあります。そうすると自転車は車道を走りたくても走れない。逃げ場がない。歩道を全て改修することは無理ですが、段差の解消くらいでしたら、それほど突飛な提案ではないのではないのでしょうか。自転車を運転する人たちのマナーを向上させると同時に、明らかに危険な箇所や事柄は改善していくことを提言できたらいいと思います。これまでも指摘されましたが、子どもの自転車運転マナーは意外に良く、一番運転マナーが悪いのはサラリーマンです。マナー改善のターゲットは大人に向けた方がいいと思います。

(松世部長) 現状のあいさつ・声かけ運動の提案について深めながら、並行して自転車の交通マナーについても取り上げていくということによろしいでしょうか。(一同了承)

### **3 区民会議(8/31)での部会の検討状況の報告について**

区民会議(8/31)での部会の検討状況の報告について、協議の結果高瀬委員を発表担当し、詳細については、今後事務局との調整によって進めることとしました。

### **4 その他**

わんわんパトロールの取組モデル実施について(事務局報告)

保健所衛生課とつながりのあったサウザンドシティのペットサークル代表者の方とお会いして、話をしたところ、好感触を得ました。8月上旬の役員会で諮り、回答をいただける予定とのことでした。

サウザンドシティ居住者でペットを飼っている方は必ずペットサークルに入ることになっており、会長は猫を飼っていらっしゃるのですが、犬を飼っている方が結構いらっしゃるそうです。サウザンドシティの管理組合から、以前同じような話もあったそうです。

(以上)